

重要

会員各位

令和2年1月17日

鎌倉市医師会会長 山口 泰  
公衆衛生担当理事 今井 一登

中華人民共和国湖北省武漢市で報告されている  
原因不明の肺炎に対する対応と院内感染対策について

神奈川県医師会を通じて、通知がまいりましたのでお知らせいたします。  
こちらは鎌倉市医師会HPにもアップロードしてありますので、ご確認ください。

日本医師会感染症危機管理対策室長

釜 菫 敏

「中華人民共和国湖北省武漢市で報告されている原因不明の肺炎に対する対応と院内感染対策」について（国立感染症研究所、国際医療研究センター）

令和元年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市において、非定型肺炎の集団発生が報告されていることおよび医療機関における院内感染対策の徹底等につきましては、令和2年1月7日付け（健Ⅱ200F）をもってご連絡申し上げました。

今般、「中国湖北省武漢市で報告されている原因不明の肺炎に対する対応と院内感染対策」がとりまとめられ、国立感染症研究所のHPに掲載（下記URLをご参照）されましたので、ご参考までに情報提供いたします。

同ページの掲載内容については、本年1月9日14時現在における情報を基に作成されており、今後、最新の情報を基に変更されることがあるとしております。

なお、厚生労働省においては、原因病原体が新種のコロナウイルスである可能性が高いとしながらも、感染経路、患者の発生状況等について新たな情報はなく、対応に変更はないとするとともに、当該病原体の情報等について引き続き更に情報収集を進めるとしております。

【国立感染症研究所 掲載場所】

○中国湖北省武漢市で報告されている原因不明の肺炎に対する対応と院内感染対策

[https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/PDF/wuhan\\_200110.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/PDF/wuhan_200110.pdf)

## 中国湖北省武漢市で報告されている原因不明の肺炎に対する対応と院内感染対策

2020年1月10日

国立感染症研究所 感染症疫学センター

国立国際医療研究センター 国際感染症センター

### 1. はじめに

中国湖北省武漢市から2019年12月12日から12月29日までに原因不明の肺炎患者の発生が確認されている。この状況についての情報は厚生労働省ウェブサイト「中華人民共和国湖北省武漢市における原因不明肺炎の発生について」([https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_08767.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08767.html))に掲載されている。本事例に関する最新の情報は前記ウェブサイトで確認できる。なお、1月9日14時現在、新種のコロナウイルスが同肺炎患者から検出されたというWHOから発表があったが、これら患者全員の原因病原体という確定にはいたっていない。

以下の内容については1月9日14時現在における情報を基に作成しており、今後、最新の情報を基に変更されることがある。

### 2. 武漢での原因不明の肺炎の疑い例のスクリーニング

- I. 発熱または呼吸器症状を訴える患者に対して、武漢への渡航歴（渡航地域、渡航期間）を聴取する。
- II. 発熱または呼吸器症状を訴える患者に武漢市への渡航歴がある場合には、武漢市内の海鮮市場への訪問の有無、武漢市内での医療機関受診の有無、武漢市内での病人との接触の有無を確認する。

### 3. 武漢での原因不明の肺炎の疑い例の定義

以下のI-II全てを満たす場合を「疑い例」とする。

- I. 発熱(37.5度以上)かつ呼吸器症状を有している。
- II. 以下の(A)、(イ)の曝露歴のいずれかを満たす。  
発症から2週間以内に  
(A)武漢市内を訪問した。  
(イ)武漢の原因不明肺炎の患者、またはその疑いがある患者と2メートル以内での接触歴がある。

### 4. 武漢での原因不明の肺炎の疑い例に対する感染対策。

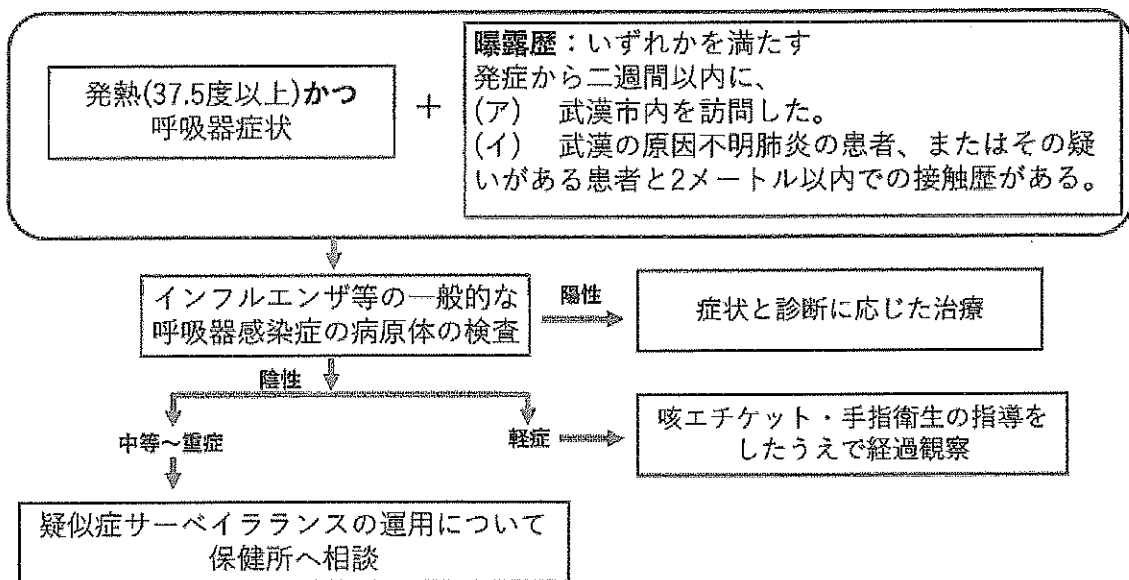
急性呼吸器感染症患者の診察時には標準予防策、つまり呼吸器症状を呈する患者本人には必ずサージカルマスクを着用させ、医療従事者は、診察する際にサージカルマ

クを含めた標準予防策を実施していることを前提とする。そのうえで、上記(ア)(イ)のいずれかの曝露歴のある患者を診察する場合、

- I. 診察室および入院病床は個室が望ましい。
- II. 患者の気道吸引、気管内挿管の処置などエアロゾル発生手技を実施する際には空  
気感染の可能性を考慮し N95 マスクを装着する。
- III. 患者の移動は医学的に必要な目的に限定し、移動させる場合には患者にサージカ  
ルマスクを装着させる。

## 5. 検査や対応の流れ (図)

まずはインフルエンザ等の一般的な呼吸器感染症の病原体による感染症を考慮し、これらについて微生物学的な検査を行う。検査の結果原因微生物が特定された場合には、検出された微生物に必要な感染防止対策を行う。上述の疑い例の定義に該当し、これらの検索で病原体が陰性である場合、軽症の場合には咳エチケット・手指衛生の指導をしたうえで経過観察。重症であり疑似症サーベイランスの対象の定義を満たした場合には、当該医療機関を所管する保健所に報告する。報告後は、「疑似症サーベイランスの運用ガイドンス (第三版)」(<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/PDF/gijisyo-gildeline-200110.pdf>)に基づき、評価や検体採取、検査が行われる。



参考：

1. 中華人民共和国湖北省武漢市における原因不明肺炎の発生について. 厚生労働省 健康局 結核感染症課.
2. 原因不明の肺炎－中国. 厚生労働省検疫所 FORTH
3. 武汉市卫生健康委员会关于不明原因的病毒性肺炎情况通报. 武汉市卫生健康委员会
4. Pneumonia of unknown cause – China. World Health Organization, Disease outbreak news.

令和2年1月16日  
記者発表資料

## 新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者の発生について

1月14日、県内の医療機関から管轄の保健所に対して、中華人民共和国湖北省武漢市の滞在歴がある肺炎の患者が報告されました。

国において当該患者の検体を国立感染研究所(村山庁舎)で検査したところ、1月15日20時45分頃に新型コロナウイルス陽性の結果が得られたため、厚生労働省が本日記者発表を行いました。

詳細については、厚生労働省記者発表の内容をご確認ください。

別添資料:厚生労働省記者発表資料

### 県民の皆様へ

- 現時点で、家族間などの限定的なヒトからヒトへの感染の可能性は否定できませんが、インフルエンザや麻疹(はしか)のようにヒトからヒトへ感染するという明確な証拠はありませんので、過剰に心配することなく、咳エチケットや手洗い等、インフルエンザなどと同様の感染対策をお願いします。
- また、武漢市から帰国・入国される方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクなどを着用し、医療機関を受診していただきますよう、ご協力をお願いします。
- 受診にあたっては、武漢市の滞在歴があることを申告してください。

### 問合せ先

神奈川県健康医療局保健医療部健康危機管理課

課長 森 電話 045-210-4790

感染症対策グループ 橋本 電話 045-210-4791

報道関係者 各位

令和2年1月16日

【照会先】

厚生労働省健康局結核感染症課  
感染症情報管理室長

梅田 浩史(内 2389)

課長補佐 加藤 拓馬(内 2373)

主査 柳川 愛実(内 2932)

(代表番号) 03(5253)1111

(直通番号) 03(3595)2257

## 新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者の発生について

1月14日、神奈川県内の医療機関から管轄の保健所に対して、中華人民共和国湖北省武漢市の滞在歴がある肺炎の患者が報告されました。この方については、1月6日にご本人が医療機関を受診した際に、武漢市の滞在歴の申告があり、その後、原因が明らかでない肺炎等の患者に係る、国立感染症研究所での検査制度（疑似症サーベイランス）に基づき報告されたものです。

当該患者の検体を国立感染症研究所（村山庁舎）で検査したところ、昨日（1月15日）20時45分頃に新型コロナウイルス陽性の結果が得られました。新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者の発生が国内で確認されたのは初めてです。

本件について、積極的疫学調査を行うとともに、世界保健機関（WHO）等の関係機関と協力し、リスク評価を進めてまいります。

### 概要

①年代： 30代

②性別： 男性

③居住都道府県： 神奈川県

④症状： 1月3日から発熱あり。

1月6日に中華人民共和国湖北省武漢市から帰国。同日、医療機関を受診。

1月10日から入院。

1月15日に症状が軽快し、退院。

⑤滞在国内： 中華人民共和国（湖北省武漢市）

- ⑥滞在国での行動歴： 本人からの報告によれば、武漢市の海鮮市場（華南海鮮城）には立ち寄っていない。中国において、詳細不明の肺炎患者と濃厚接触の可能性がある。

◆国民の皆様へのメッセージ

- 新型コロナウイルス関連肺炎に関する WHO や国立感染症研究所のリスク評価によると、現時点では本疾患は、家族間などの限定的なヒトからヒトへの感染の可能性が否定できない事例が報告されているものの、持続的なヒトからヒトへの感染の明らかな証拠はありません。風邪やインフルエンザが多い時期であることを踏まえて、咳エチケットや手洗い等、通常の感染対策を行うことが重要です。
- 武漢市から帰国・入国される方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、速やかに医療機関を受診していただきますよう、御協力をお願いします。なお、受診に当たっては、武漢市の滞在歴があることを申告してください。

(その他)

- 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、国民の皆様への正確な情報提供に御協力をお願いします。なお、現場での取材は、患者の方のプライバシー保護といった観点からも、お控えください。

(参考) コロナウイルスとは

人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。人に感染症を引き起こすものはこれまで6種類が知られていますが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがある SARS-CoV（重症急性呼吸器症候群コロナウイルス）と MERS-CoV（中東呼吸器症候群コロナウイルス）以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまります。詳細は、国立感染症研究所の情報ページをご参照ください。

○国立感染症研究所 人に感染するコロナウイルス

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-2020-01-10-06-50-40/9303-coronavirus.html>